

事業評価票（資産分析を行う事業）

5	指揮艇（しぶき代替船）の購入（港湾局）	管理・運用開始	昭和 50 年度																												
資産の概要		・主として工事監督に使用する指揮艇を所有している。																													
現状分析	需要状況 (利用・稼働等)	【稼働状況】 ・平成26年度 141日、25年度 128日、24年度 123日																													
	維持管理コスト	・維持管理費（過去3ヵ年平均）5,102千円 《単位当たりコスト》平均 39千円/日 ・平成26年度 3,096千円、25年度 5,455千円、24年度 6,754千円																													
	老朽化状況	・稼働年数42年／耐用年数15年	老朽化率 100 %																												
	課題・問題点	・耐用年数を大幅に超過しており、船体各部が劣化により限界を迎えている。このため修繕費用が嵩む傾向にある。																													
今後の対応 (局計画)		・老朽化にかかる更新に合わせ新船を購入し、維持管理費用の低減を図る。																													
見積概要 (局評価)		<p>・現在運用している指揮艇を更新することで、維持管理にかかる経費の縮減を図る。28年度は購入費を見積もる。</p> <p style="text-align: center;">《コスト比較》 (単位:千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>減価償却</th> <th>維持管理費</th> <th>修繕費</th> <th>燃料費</th> <th>年間コスト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更新後</td> <td>1,766</td> <td>2,094</td> <td>1,944</td> <td>150</td> <td>3,860</td> </tr> <tr> <td>現行</td> <td>-</td> <td>5,102</td> <td>4,891</td> <td>211</td> <td>5,102</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>1,766</td> <td>△3,008</td> <td>△2,947</td> <td>△61</td> <td>△1,242</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※ 現行：24-26実績平均値</p>	区分	減価償却	維持管理費	修繕費	燃料費	年間コスト	更新後	1,766	2,094	1,944	150	3,860	現行	-	5,102	4,891	211	5,102	差引	1,766	△3,008	△2,947	△61	△1,242	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="background-color: #ffff00;">28年度見積額</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">28,446 千円</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffff00;">27年度予算額</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3,460 千円</td></tr> </table>	28年度見積額	28,446 千円	27年度予算額	3,460 千円
区分	減価償却	維持管理費	修繕費	燃料費	年間コスト																										
更新後	1,766	2,094	1,944	150	3,860																										
現行	-	5,102	4,891	211	5,102																										
差引	1,766	△3,008	△2,947	△61	△1,242																										
28年度見積額																															
28,446 千円																															
27年度予算額																															
3,460 千円																															
財務局評価		<p>・更新により、維持管理経費の削減効果が見込まれ、コストの縮減が図られていることから、見積額のとおり計上する。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">妥当</td><td style="text-align: center;">見直し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">見送り</td><td style="text-align: center;">その他</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffff00;">28年度予算額</td><td style="text-align: center;">28,446 千円</td></tr> </table>	妥当	見直し	見送り	その他	28年度予算額	28,446 千円																						
妥当	見直し																														
見送り	その他																														
28年度予算額	28,446 千円																														

6	小型ヘリコプターの更新（はやぶさ1号・3号）（警視庁）	管理・運用開始	平成 9 年度																								
資産の概要		・はやぶさ1号・3号は、緊急配備発令時の捜査、追跡及び各種情報収集活動等を行うために配備する小型ヘリコプターである。(運用開始…1号10年度、3号9年度)																									
現状分析	需要状況 (利用・稼働等)	【稼働状況】 <1号>26年度 320時間、25年度 370時間、24年度 396時間 <3号>26年度 71時間、25年度 328時間、24年度 397時間																									
	維持管理コスト	<1号>維持費(所有)年間：13,098千円 《単位当たりコスト》3年平均 36千円/日 (26年度 13,426千円、25年度 11,035千円、24年度 14,832千円) <3号>維持費(所有)年間：43,641千円 《単位当たりコスト》3年平均 120千円/日 (26年度 105,924千円、25年度 10,125千円、24年度 14,872千円)																									
	老朽化状況	<1号>稼働年数17年/耐用年数20年 (30年度更新時 稼働20年) <3号>稼働年数18年/耐用年数20年 (29年度更新時 稼働20年)	老朽化率 (1号) 85.0% (3号) 90.0%																								
	課題・問題点	・はやぶさ1号は平成11年2月、3号は10年2月にそれぞれ配備され、30年・29年度末に20年を経過する。飛行時間の増加及び経年変化等により故障率も増加し、性能の劣化により安全性への懸念が発生しており、更新が必要である。																									
今後の対応 (局計画)		・一機毎の単年度更新から、債務負担行為による複数年度更新とし、更に更新時期に合わせ複数機(二機)を同一機種で更新する。複数機の一括契約及び同一機種導入による部品共有化から原材料費を圧縮する等、経費の縮減を図る。																									
見積概要 (局評価)		<p>・債務負担行為による複数年度更新とし、更に更新時期に合わせ複数機(二機)を同一機種で更新する。複数機の一括契約及び同一機種導入による部品共有化から原材料費を圧縮する等、経費の縮減を図る。</p> <p style="text-align: center;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2機同時・同一機種更新</th> <th>一機毎更新(計2機)</th> <th>経費縮減効果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本体購入費</td> <td style="text-align: right;">2,210,246</td> <td style="text-align: right;">2,339,802</td> <td style="text-align: right;">△ 129,556</td> </tr> <tr> <td>部品購入費</td> <td style="text-align: right;">4,785</td> <td style="text-align: right;">25,053</td> <td style="text-align: right;">△ 20,268</td> </tr> <tr> <td>航空機要員養成経費</td> <td style="text-align: right;">205,740</td> <td style="text-align: right;">411,480</td> <td style="text-align: right;">△ 205,740</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">2,420,771</td> <td style="text-align: right;">2,776,335</td> <td style="text-align: right;">△ 355,564</td> </tr> </tbody> </table>		2機同時・同一機種更新	一機毎更新(計2機)	経費縮減効果	本体購入費	2,210,246	2,339,802	△ 129,556	部品購入費	4,785	25,053	△ 20,268	航空機要員養成経費	205,740	411,480	△ 205,740	合計	2,420,771	2,776,335	△ 355,564	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="background-color: #ffff00;">28年度見積額</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">— 千円</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffff00;">27年度予算額</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">— 千円</td></tr> </table>	28年度見積額	— 千円	27年度予算額	— 千円
	2機同時・同一機種更新	一機毎更新(計2機)	経費縮減効果																								
本体購入費	2,210,246	2,339,802	△ 129,556																								
部品購入費	4,785	25,053	△ 20,268																								
航空機要員養成経費	205,740	411,480	△ 205,740																								
合計	2,420,771	2,776,335	△ 355,564																								
28年度見積額																											
— 千円																											
27年度予算額																											
— 千円																											
財務局評価		<p>・債務負担行為により、複数機を同一機種で更新していくことは、購入費に加え、購入後の運用経費の縮減にもつながることから、見積額のとおり計上する。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">妥当</td><td style="text-align: center;">見直し</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">見送り</td><td style="text-align: center;">その他</td></tr> <tr><td style="background-color: #ffff00;">28年度予算額</td><td style="text-align: center;">— 千円</td></tr> </table>	妥当	見直し	見送り	その他	28年度予算額	— 千円																		
妥当	見直し																										
見送り	その他																										
28年度予算額	— 千円																										